

# 5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第5時(9時間取り扱い)

三角形の面積を求める公式を作る課題を持つことができる

## 本時の授業の概要

前時において考えた三角形の面積の求め方をもとに、三角形の面積を求める公式を作る。三角形の面積を求めるためにはどこかの長さが分かるといいのかを考え、公式にまとめ、三角形の面積の求め方の理解を深める。

## 本時の目標

三角形の面積を求める公式を考えることができる。

## 活用場面

課題発見

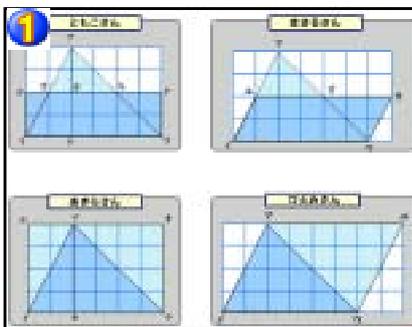
見通し

一般化

まとめ

習熟

前時で学習した三角形の面積の求め方を振り返る



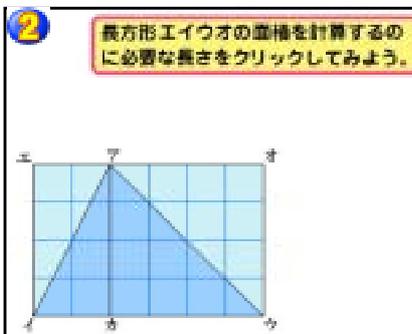
① T : 前の時間はいろいろな方法で三角形の面積を求めましたね。どんな方法がありましたか。

C : 三角形の一部を切って移動して、平行四辺形を作り面積を求めました。

C : 三角形を2つ合わせて平行四辺形を作り、その平行四辺形の面積を半分にして求めました。

T : いつも移動したり、あわせるのはたいへんですね。

三角形の面積を求めるために必要な長さに着目することにより、公式にするという本時の課題を持つ



② ③ T : 面積を求めるために必要な長さはどこか印をつけてみましょう。

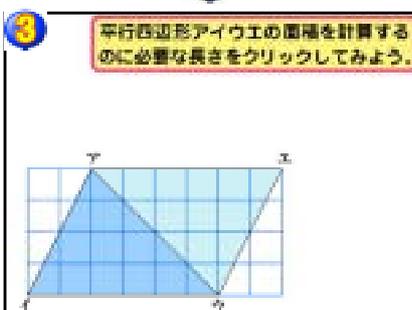
C : どの方法でも、三角形の下の辺(底辺)の部分はいつも使う。

C : もう一つも、どれも似ている。どの方法にも共通することがありそうだ。

T : 三角形の面積を求めるときに必要な長さは、どの方法でもほぼ同じだね。

C : 公式ができそうだ。

T : 今日は三角形の面積を求める公式を作りましょう。



## 【ワンポイントアドバイス】

面積を求めるために必要な長さに着目させ、共通する部分があることに気づかせ、公式を作りたいという課題意識を高めたい。

方眼がある場合は高さを捉えやすいが、方眼がないと高さを捉えることは難しい。底辺と高さは垂直の位置関係になっていることを確実におさえたい。

## 【サイト情報】

[http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14/contents/vol1/p93\\_01.html](http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14/contents/vol1/p93_01.html)

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)